

6 高農基第 844 号
令和 6 年 10 月 29 日

土木工事標準積算基準書【土地改良編】の訂正について（通知）

土木工事標準積算基準書【土地改良編】令和 6 年 7 月の一部を別紙正誤表のとおり訂正しましたので、お知らせします。

土木工事標準積算基準書 [土地改良編] 正 誤 表

正

(8) 不整地運搬車 1 日当り運転単価表 （機－ 2 8 参考）

名 称	規 格	施工歩掛コード		摘 要
		単位	数 量	
運 転 手 （ 特 殊 ）		人	1.00	
軽 油		L	14	
不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型(第 2 次基準値) クローラ型 油圧ダンプ式 積載質量 2.0t	供用日	1.55	
計				

(9) 不整地運搬車 1 日当り運転単価表 （機－ 1 8 参考）

名 称	規 格	施工歩掛コード		摘 要
		単位	数 量	
運 転 手 （ 特 殊 ）		人	1.00	
軽 油		L	20	
不 整 地 運 搬 車	クローラ型 油圧ダンプ式 積載質量 3.0t	供用日	1.57	
計				

Ⅱ－8－⑥－7

誤

(8) 不整地運搬車 1 日当り運転単価表 （機－ 2 8 参考）

名 称	規 格	施工歩掛コード		摘 要
		単位	数 量	
運 転 手 （ 特 殊 ）		人	1.00	
軽 油		L	14	
不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型(第 2 次基準値) クローラ型 油圧ダンプ式 積載質量 2.0t	供用日	1.55	
計				

(9) 不整地運搬車 1 日当り運転単価表 （機－ 1 8 参考）

名 称	規 格	施工歩掛コード		摘 要
		単位	数 量	
運 転 手 （ 特 殊 ）		人	1.00	
軽 油		L	20	
不 整 地 運 搬 車	クローラ型 油圧ダンプ式 積載質量 3.0t	供用日	1.55	
計				

Ⅱ－8－⑥－7

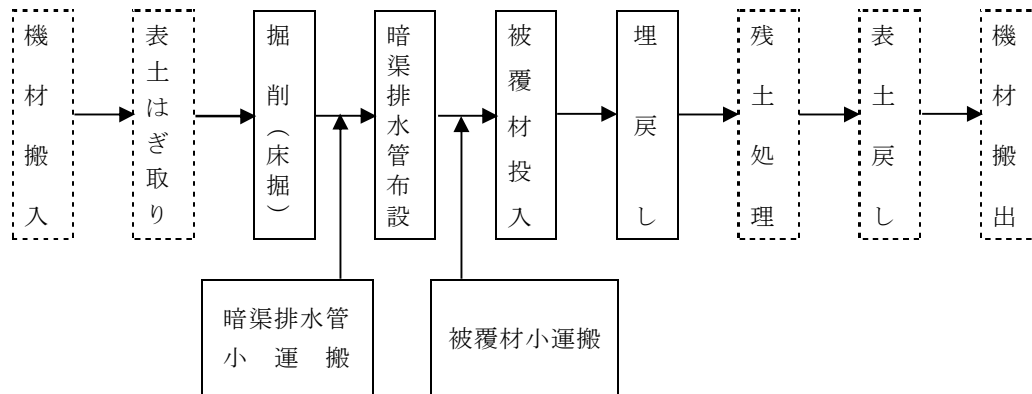
⑥ 暗渠排水工

1. 適用範囲

本歩掛は、ほ場整備工事における、水田及び畑地の暗渠排水工（掘削から埋戻しまで）の一連の作業を、日単位で施工する場合に適用する。

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



- （注） 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
2. 暗渠排水管小運搬及び被覆材小運搬には積込み、荷卸しを含む。
3. 被覆材はもみ殻、粗朶類、砕石とする。

3. 機種の選定

3-1 掘削機械

掘削（床掘）に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

表 3.1 機種の選定

機 械 名	規 格
トレンチャ	自走式・普通型クローラ 35kw、最大掘削深 1.3m級
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積 0.28m ³ （平積 0.20m ³ ） [狭幅バケット装備]

（注）機種は、地盤特性、作業効率、入手容易性等を総合的に評価して選定する。

3-2 被覆材投入機械

被覆材投入に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

表 3.2 機種の選定

機 械 名	規 格
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積 0.28m ³ （平積 0.20m ³ ）

3-3 埋戻し機械

埋戻しに使用する機種・規格は、次表を標準とする。

表 3.3 機種の選定

機 械 名	規 格
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型山積 0.28m ³ （平積 0.20m ³ ）

3-4 小運搬機械

小運搬に使用する機種、規格は次表を標準とする。

表 3.4 機種の選定

資 材 名	機 械 名	規 格
暗渠排水管（定尺管） 土管・陶管 もみ殻、粗朶類	不整地運搬車	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型油圧ダンプ式積載質量 2.0t
暗渠排水管（ロール管） 碎石	不整地運搬車	クローラ型油圧ダンプ式積載質量 3.0t

(注) 1. 暗渠排水管（定尺管）は、硬質ポリ塩化ビニル管及び硬質ポリエチレン製管、合成樹脂網管の
L=4.00～5.00m／本の場合である。

2. 暗渠排水管（ロール管）は、硬質ポリエチレン製管、合成樹脂網管のロール管の場合である。

4. 施工歩掛

4-1 暗渠排水工

4-1-1 日当り施工量

暗渠排水工の日当り施工量は、次表を標準とする。

表 4.1 日当り施工量

(1日当り)

機 械 名	規 格	資材名	呼び径 (mm)	数量 (m)	
				掘削深	
				$0.5 \leq h \leq 0.7\text{m}$	$0.7 < h \leq 1.0\text{m}$
トレンチャ	自走式・普通型クローラ 35kW 最大掘削深 1.3m級	暗渠排水管 (定尺管)	$\phi 50 \sim 75$	206	
			$\phi 100$	146	
		暗渠排水管 (ロール管)	$\phi 50 \sim 75$	278	241
			$\phi 60$	149	
		土管・陶管	$\phi 75$	111	
			$\phi 90$	92	
バックホウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	暗渠排水管 (定尺管)	$\phi 50 \sim 75$	159	119
			$\phi 100$	146	118
		暗渠排水管 (ロール管)	$\phi 50 \sim 75$	160	118
			$\phi 60$	149	120
		土管・陶管	$\phi 75$	111	
			$\phi 90$	92	

(注) バックホウの掘削時には狭幅バケットを装備する。

4-1-2 施工歩掛

暗渠排水工の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 4.2 施工歩掛

(1日当り)

名 称	単位	暗 渠 配 水 管 (定尺管)	暗 渠 排 水 管 (ロール管)	土 管 ・ 陶 管
世 話 役	人	0.3	0.2	0.4
特 殊 作 業 員	〃	0.5	0.3	0.4
普 通 作 業 員	〃	1.0	1.0	1.0

4-1-3 施工機械（トレンチャ掘削）

トレンチャ掘削による暗渠排水工の機械運転数量は、次表を標準とする。

表 4.3 施工機械（トレンチャ掘削時）（1 日当り）

名 称		単 位	数 量
トレンチャ運転	自走式・普通型 クローラ 35kW 最大掘削深 1.3m 級	日	0.4
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型 山積 0.28m ³ (平積 0.20m ³)	〃	0.6

4-1-4 補助労務

被覆材投入の補助労務（普通作業員）は、次表を標準とする。

表 4.4 補助労務歩掛（1 日当り）

機 種	管 種	呼び径 (mm)	補助労務 (人)	
			掘削深 (h)	
			0.5 ≤ h ≤ 0.7m	0.7 < h ≤ 1.0m
トレンチャ	暗渠排水管（定尺管）	φ 50～75	1.0	2.0
		φ 100	1.0	2.0
	暗渠排水管（ロール管）	φ 50～75	2.0	2.0
	土管・陶管	φ 60	1.0	2.0
		φ 75	1.0	1.0
		φ 90	1.0	1.0
バックホウ	暗渠排水管（定尺管）	φ 50～75	2.0	2.0
		φ 100	1.0	2.0
	暗渠排水管（ロール管）	φ 50～75	2.0	2.0
	土管・陶管	φ 60	2.0	2.0
		φ 75	1.0	2.0
		φ 90	1.0	2.0

4-2 小運搬

4-2-1 人力小運搬

暗渠排水管（定尺管）の人力小運搬の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 4.5 施工歩掛（1 日当り）

資 材 名	運 搬 距 離	日当り施工量 (m)	普通作業員 (人)
暗渠排水管（定尺管）	50m 以下	5,660	1.1

(注) 1. 本歩掛には積込み、荷卸しを含む。

2. 本表は、ほ場の一边に仮置されている資材を人肩又は手車により、ほ場内へ小運搬する作業に適用する。

4-2-2 機械小運搬（不整地運搬車）

(1) 日当り施工量

機械小運搬（不整地運搬車）の日当り施工量は、次表を標準とする。

表 4.6 日当り施工量

(1 日当り)

資 材 名	規 格	単位	運 搬 距 離		
			50m以下	50mを超え 100m以下	100mを超え 150m以下
暗 渠 排 水 管 (定 尺 管)	排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型油圧ダンプ式 積載質量 2.0t	m	—	3,310	3,160
暗 渠 排 水 管 (ロール管)	クローラ型油圧ダンプ式 積載質量 3.0t	m	2,580	2,240	1,890
土 管 ・ 陶 管	排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型油圧ダンプ式 積載質量 2.0t	ton	7.2	6.6	6.0
も み 殻	排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型油圧ダンプ式 積載質量 2.0t	m ³	110	94.4	78.8
砕 石	クローラ型油圧ダンプ式 積載質量 3.0t	m ³	38.5	32.9	27.2
粗 朶 類	排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型油圧ダンプ式 積載質量 2.0t	m ³	155	137	120

(注) 本表は、ほ場の一边に仮置されている資材を不整地運搬車により、ほ場内へ小運搬する作業に適用する。

(2) 積卸し歩掛

積卸しの施工歩掛は、次表を標準とする。

表 4.7 施工歩掛

資 材 名	普 通 作 業 員
暗 渠 排 水 管 (定 尺 管)	0.04 人／100m
暗 渠 排 水 管 (ロール管)	0.03 人／100m
土 管 ・ 陶 管	0.54 人／10ton
も み 殻	0.14 人／10m ³
粗 朶 類	0.09 人／10m ³

(注) 砕石の積込みは別途計上とする。なお、荷卸しはダンプアップによる。

5. 単価表

(1) トレンチャ掘削による暗渠排水工 1 日当り単価表

名 称	規 格	施工歩掛コード		摘 要
		単位	数 量	
世 話 役		人		表 4.2
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
ト レ ン チ ャ 運 転	自走式・普通型 クローラ 35kW 最大掘削深 1.3m級	日		表 4.3
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型 山積 0.28m ³ (平積 0.20m ³)	日		表 4.3
普 通 作 業 員		人		表 4.4
計				

(2) バックホウ掘削による暗渠排水工 1 日当り単価表

名 称	規 格	施工歩掛コード		摘 要
		単位	数 量	
世 話 役		人		表 4.2
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第 2 次基準値) クローラ型 山積 0.28m ³ (平積 0.20m ³) [狭幅ハケット装備]	日	1	
普 通 作 業 員		人		表 4.4
計				

(3) 暗渠排水工（小運搬（暗渠排水管））1000m当り単価表

名 称	規 格	施工歩掛コード		WR209080
		単位	数 量	摘 要
普 通 作 業 員		人	$1.1/D \times 1000$	人力小運搬の場合 表 4.5
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型油圧ダンプ式積載質量2.0t又はクローラ型油圧ダンプ式積載質量3.0t	日	$1000/D$	機械小運搬の場合 表 4.6
普 通 作 業 員		人	表 4.7×10	機械小運搬の場合
計				

(注) D：日当り施工量

(4) 暗渠排水工（小運搬（土管・陶管））10 t 当り単価表

		施工歩掛コード		WR209090
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型油圧ダンプ式積載質量 2.0t	日	10/D	表 4.6
普 通 作 業 員		人	表 4.7	
計				

(注) D：日当り施工量

(5) 暗渠排水工（小運搬（土管・陶管））10 t 当り単価表

		施工歩掛コード		WR209100
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型油圧ダンプ式積載質量 2.0t 又はクローラ型油圧ダンプ式積載質量 3.0t	日	10/D	表 4.6
普 通 作 業 員		人	表 4.7	
計				

(注) D：日当り施工量

(6) トレンチャ 1 日当り運転単価表 （機－18 参考）

		施工歩掛コード		WR209041
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
運 転 手（特殊）		人	1.00	
軽 油		L	33	
ト レ ン チ ャ	自走式 普通型クローラ 35kw 最大掘削深 1.3m級	供用日	1.52	
計				

(7) バックホウ 1 日当り運転単価表 （機－18 参考）

		施工歩掛コード		WR209042
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
運 転 手（特殊）		人	1.00	
軽 油		L	34	
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積 0.28m ³ （平積 0.20m ³ ） [狭幅バケット装備]	供用日	1.66	
計				

(8) 不整地運搬車 1 日当り運転単価表 (機－ 2 8 参考)

		施工歩掛コード		WR209081
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
運 転 手 (特 殊)		人	1.00	
軽 油		L	14	
不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型(第 2 次基準値) クローラ型 油圧ダンプ式 積載質量 2.0t	供用日	1.55	
計				

(9) 不整地運搬車 1 日当り運転単価表 (機－ 1 8 参考)

		施工歩掛コード		WR209082
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
運 転 手 (特 殊)		人	1.00	
軽 油		L	20	
不 整 地 運 搬 車	クローラ型 油圧ダンプ式 積載質量 3.0t	供用日	1.57	
計				